

# 西建協だより

286号

2018年  
5月



## 着任のご挨拶

青梅労働基準監督署長 田中 宏 治

このたび、四月一日付で青梅労働基準監督署長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

西多摩建設業協同組合の皆様には、平素より労働基準行政の推進、とりわけ労働災害防止活動に熱心に取り組んでおられること、心からお礼申し上げます。

さて、東京労働局では本年度から五か年にわたる「第十三次東京労働局労働災害防止計画」(通称、「十三次防」)を策定して、官民一体の労働災害防止の各種取組を推進しております。

十三次防では、平成二十九年の労働災害発生数と比較して、①死亡災害で十五%以上の減少、②死傷災害(休業四日以上)の労働災害

こういった現状などを御理解いただき、皆様におかれましては、さらなる労働災害防止に向けた取組の推進をお願い申し上げます。

また、これまでに増して、当署の職員が施工現場等へ伺う機会も多くなるかと思えます。その際には、是非とも、皆様が日ごろから労働災害防止に向けて積極的に取り組んでおられる事例や取り組みに当たって頭を悩ませられていることなど、現場の生の声をお聴かせいただき、共に労働災害防止を協力に推進していきたくと考えております。

末筆となりましたが、皆様の益々の御健勝を祈念申し上げます。着任の挨拶とさせていただきます。

## 挨拶

東京都西多摩建設事務所長 奥 秋 聡 克

このたび、西多摩建設事務所長として四月一日付で着任いたしました奥秋聡克でございます。

西多摩建設業協同組合の皆様には、当事務所所管の道路河川等の事業推進に当たって、日頃より多大なご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当事務所は、東京都二十三区にも匹敵する広大なエリアを所管しております。

その約七割が山間地域であり、雪害や土砂災害などの自然災害への備えは大変大きな課題であります。さらに、市街地では、交通安全のための道路改良、観光シーズンの交通渋滞の解消のためのバイパス道路の整備など進めていく必要があります。

今年度は、災害時における集落の孤立化

を防止する、梅ヶ谷トンネルの本体工事にいよいよ着手します。落石により

日原鍾乳洞付近で通行止めとなつていた日原街道についても、秋の観光シーズンまでには対策を完了させ、交通開放します。市街地では、安全で円滑な道路ネットワークの形成に向けて、西多摩産業道路や千ヶ瀬バイパスの延伸を、志茂及び箱根ヶ崎において

鉄道との立体交差事業を、吉野街道等において歩道設置や電線地中化を進めてまいります。

また、砂防事業などの土砂災害対策や中小河川の改修、道路斜面の補修、トンネル・橋梁の長寿命化等を着実に実施します。

さらに、日常の維持補修も

しっかりと行っております。雪害や土砂災害に備えて事業者の皆様には協力体制を確保していただいております。日々のたゆまぬ努力によって地域の安全が確保されています。事業者及び長年リーダーシップを執られている西多摩建設業協同組合の皆様には大変感謝しております。

今後とも、意見交換などを通じて連携を強化し、西多摩地域の安全確保と発展に向けて尽力してまいりますので、引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 平成三十年度事業方針

西多摩建設業協同組合  
理事長 榎森 厚志

昨年は世界経済、日本経済ともに予想以上の好調で順調な景気回復に期待が高まり、建設業界の市場規模に於いてもリーマンショック直後の二〇一〇年から比較すると、緩やかな回復傾向にあると言われております。しかしながら、これらの動向は大手企業に限られたものであり、中小企業が主体となる多摩地域の建設業界にあつては、東北震災からオリンピック等に関わるインフラ整備等、限定的な建設ラッシュにより、人材不足、作業員高齢化、受注量減少等の問題に拍車がかかり、極めて厳しい現状となっております。また、人材不足の中でも特に技術者の育成に関してはより深刻であります。厚労省の統計によると二〇一七年度では建設業の求人倍率は四・六八倍、とび土工・鉄筋工では一〇・七五倍にものぼっております。

入札契約制度に関しては東京都とヒアリングを重ね、業界側から改全要望書を提出した結果、建築四・四億、土木三・五億、設備二・五億以下は予定価格を事前公表とする。又、JV結成義務撤廃に関する回答であり、一定の改善案を東京都が示したもので、当組合を始め建設業団体の粘り強い要望活動が行政を動かす結果となったものであります。働き方改革の推進に関しても発注者側の理解が必要不可欠であり、今後一層の行政や関係官庁との協力、提携が重要だと考え、引き続き行政への要望活動を継続し、西多摩地域の受注機会増大に傾注することが急務となります。

これらの現状を鑑み、地域に密着した地場建設業者で構成された西多摩建設業協同組合は、多摩地域の安心安全な街づくりに貢献し、西多摩の未来を担い、地域から必要とされる組合を目標に建設業の社会的地位向上に努め、当組合の発展に寄与して参る所存です。

今後とも各委員会の活動を主体に組合員相互扶助の精神に基づき努力邁進して参ります。

組合員皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

### 本年度重点目標

- 一、災害対策組織の強化および近隣組織との連携
- 二、組合員の技術力向上、スキルアップ講習会等の実施
- 三、労働災害撲滅の為、工事現場パトロールの実施
- 四、組合活動の強化および広報の拡充
- 五、暴力団等排除協議会の活動
- 六、新規組合員および賛助会員の確保
- 七、組合収益事業の拡充
- 八、西多摩地域における社会貢献

平成30年度 西多摩 建設マイスター 受賞者



- ・ 加藤浩士朗 (株)コウケン
- ・ 飯村 公 戸高建設(株)
- ・ 伊藤 新一 (有)宮崎土木



東京バーディクラブ

西多摩建設業協同組合 親睦ゴルフコンペ

5月15日(火)親睦ゴルフコンペが開催されました。組合員・賛助会員合わせて総勢35人(9組)の多くの参加者にて実施されました。

(広報委員会)

平成30年度通常総会(第52回)  
優良工事表彰受賞組合員



- 右より
- ・(株)村尾重機
- ・(株)村尾重機
- ・成友興業(株)
- ・(株)馬場組
- ・(株)武田組

全国安全週間

準備期間 6月1日～6月30日

本週間 7月1日～7月7日

スローガン

新たな視点で見つめる職場

創意と工夫で安全管理

惜しまぬ努力で築くゼロ災

4月事業報告

- 2日 三建連 合同企業説明会 第1回実行委員会
- 11日 西建協・若手経営者の会 役員会
- 13日 広報委員会 285号編集発行
- 13日 事業委員会
- 16日 都議会公明党「都の入札制度改革に対するヒアリング」  
三多摩建設業連合会 出席
- 15日 国・都の優良工事の表彰受賞者の応募締切
- 16日 総務委員会
- 18日 理事会
- 26日 災害対策安全委員会
- 26日 東京都知事による「都の入札契約制度改革に対する」  
ヒヤリング出席(三多摩建設業連合会)

5月事業計画

- 8日 事業委員会
- 14日 広報委員会 286号編集発行
- 15日 西多摩建設業協同組合 親睦ゴルフコンペ
- 18日 三建連 合同企業説明会 第2回実行委員会
- 21日 総務委員会
- 23日 理事会
- 23日 西多摩建設業協同組合 第52回通常総会  
時間:16時  
会場:青梅市福祉センター 2階うめの間
- 31日 西建協・若手経営者の会 第25回定期総会  
時間:16時  
会場:建設会館 3階大会議室

《安全週間説明会》

日時 6月15日(金曜日)午後2時～  
会場 羽村市生涯学習センター ゆとろぎ 2階講座室

◇日建学院青梅認定校(西建協)からのご案内◇

受講生募集案内 『合格のための受験対策講座』  
〈青梅校2018年度開講講座〉

- ◎1級土木施工管理技士学科コース 毎週 火・木  
講義日程 3月中旬～6月下旬 18:40～
- ◎給水装置工事主任技術者講座 毎週 火・木  
講義日程 7月下旬～10月中旬 18:40～
- ◎2級土木施工管理技士(学科・実地)コース 毎週 火・木  
講義日程 6月下旬～10月中旬 18:30～
- ◎宅地建物取引主任者本科コース 毎週 水  
講義日程 3月中旬～10月中旬
- ◎2級建築施工管理技士(学科・実地)コース 毎週 火・木  
講義日程 8月中旬～11月上旬

西多摩建設業協同組合が「日建学院認定校」として青梅校を開講(9年目)致します。

会員企業の皆様からの受講問合せ(受講申込)等の連絡をお待ちしております。

- \*詳細説明は随時致します。
- \*先ず下記までお問合せ下さい。

連絡先 青梅認定校(西建協) 0428-22-6245 石川  
日建立川校 担当:澤田 080-9349-3870